



「中韓日シンポジウム アジアにおける PISA問題」

2011年

6/14火

参加費
無料
事前申込▶不要

午後2時—午後5時(受付開始 午後1時半)
京都大学芝蘭会館別館 研修室1

報告

- | | |
|---------------|-----------------------------|
| 中国におけるPISA問題 | 陸 璟 (上海市教育科学研究院普通教育研究所 副所長) |
| 韓国におけるPISA問題 | 白 淳根 (ソウル大学 全学入試部長) |
| 日本におけるPISA問題 | 楠見 孝 (京都大学大学院教育学研究科・教授) |
| アジアにおけるPISA問題 | 杉本 均 (京都大学大学院教育学研究科・教授) |

司会 南部 広孝 (京都大学大学院教育学研究科・准教授)
西岡加名恵 (京都大学大学院教育学研究科・准教授)



国際学力調査であるPISA (OECD生徒の学習到達度調査)の結果が、各国の教育改革に大きな影響を与えています。本シンポジウムでは、近年とみにPISAの結果が注目されている中国と韓国から、その教育政策にも責任を担っておられる研究者をお呼びして、アジアの視点からPISA問題を論議していきます。

主催:  京都大学大学院教育学研究科
教育実践コラボレーション・センター

お問合せ先

京都大学教育学研究科 教育実践コラボレーション・センター
〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学教育学研究科 TEL&FAX 075-753-3075
E-mail collabo@educ.kyoto-u.ac.jp http://www.educ.kyoto-u.ac.jp/collabo/